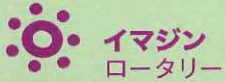


《 国際ロータリー第2790地区/地区大会 》

第2日目：10/9アパホテル&リゾート東京ベイ幕張ホール



ロータリーの仲間と信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えていこう！



◇国際ロータリー第2790地区ガバナ/小倉純夫（松戸RC）

職業分類：法律弁護士（民事）

◇RI会長代理/柳生好春（第2610地区 野々市RC）

（第2610地区/富山・石川/パストガバナー）

職業分類：(株)日本エルディア（私塾経営）

◇演奏「大原保人スーパー・ジャズ・カルテットspecialguest 渡辺真知子」

◇記念講演 俳優 高橋秀樹（品川RC）



◇小倉ガバナーアドレス

「ロータリーの仲間との信頼を築き、千葉から世界を変えていこう！」

*今より少しでも住みよい社会や世界を想像する

*一步一步地域に根差した奉仕活動を実践する



地域社会に変化をもたらし、それが世界を変える一歩になる

*ロータリーのチカラ⇒Magic Of Rotaryと繋がり世界のネットワークを信じ、信頼できる仲間そして地域の人々との協力関係を深める

【RIビジョン声明】 戦略的優先事項 ⇒ 「DEI」

★現在RIが最も強調しているテーマ

「クラブにDEIの推進を！」

D	Diversity	(ダイバーシティ)	多様性
E	Equity	(エクイティ)	公平さ
I	Inclusion	(インクルージョン)	包摂性

※これまでロータリーが最も大切にしてきた

「ロータリーの目的」

「4つのテスト」

「中核的価値観（親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ）」

これらは不変

※クラブが、様々な経験やアイデンティティを持つ人々の入会を奨励し、入会後もその会員を暖かく迎え入れ支えていくための環境を育てていく。

【第2スローガン】

ロータリーを楽しみながら、地域で、そして世界で良い事をしよう！

<ロータリーの基本>

⇒ **親睦** (fellowship) **奉仕** (service)

【地区運営の基本的な考え方】

ガバナーの任務と役割⇒**DLP/CLPの活用**（当地区内全クラブを活性化する元気なクラブ作りの支援）

CLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）

ロータリーの主役⇒会員一人ひとり

<クラブが目指すべきもの> 会員の相互交流（親睦）を図り、職業人、組織のリーダーとしての成長の機会（自己研磨と学習成長の機会）を提供すること。

<元気なクラブとは>

- ①明確な目標がある/協力的
- ②コミュニケーション/交流がとれている⇒風通しが良く、相互の交流が活発
- ③例会の充実/楽しく情報が行き届いている

※80クラブの内40クラブは全体的に元気がない。

⇒全体的に元気がない/会員の減少⇒CLPの活用が必要。

<最大の課題>

「会員の高齢化」と「会員の減少」

★若手リーダー育成

現状⇒82クラブの内半分以下のクラブにビジョンがない。

理想と現実の差を埋めなければならない。

★「WITHコロナ/AFTERコロナの今後の活動」

⇒何のためにロータリーがあるのか奉仕するのかを考える⇒会員基盤の向上

①5年後、10年後の目標

②参加したくなる例会（充実/マンネリ化させない）

③DEIを浸透させる「居心地の良いクラブ」づくり

《新設》 ICT推進委員会/環境委員会

（コロナ過で開催出来ないクラブが多くあった）

【2022-2023年度 第2790地区ビジョン】

「私たちは、ロータリアンの「奉仕の理念」に基づき、ロータリーを楽しみながら、地域社会でそして世界で、持続可能なより良い未来を目指して、奉仕を実践し、行動していきます。」



◇RI会長代理アドレス・RI現況報告（柳生好春）

RIのテーマ「イマジンロータリー」

イマジンと言えば51年前（半世紀前）のジョンレノンと小野洋子のイマジン。

（歌詞の意味が考え深く、対立するようなReligionはいらぬ。）

今までの「RIのテーマ」も抽象的⇒民族も違えば文化も違う、その中で共通のテーマ、含みを持たせながら各国、地域に適したものとして応用すべきである。

⇒我々のイメージの変化が求められている。

*運が良い人と悪い人心理学的に判明⇒藤井聡教授(京大)の研究発表によると

「運が良い人」⇒ 『配慮の範囲が広い人』 ⇒ ロータリアンは運のいい人の集まりと言える

「運が悪い人」⇒ 『配慮の範囲が狭い人』

自分の事ばかり考えている人⇒協力者もいない⇒共感者もいない

<ロータリー人口について>

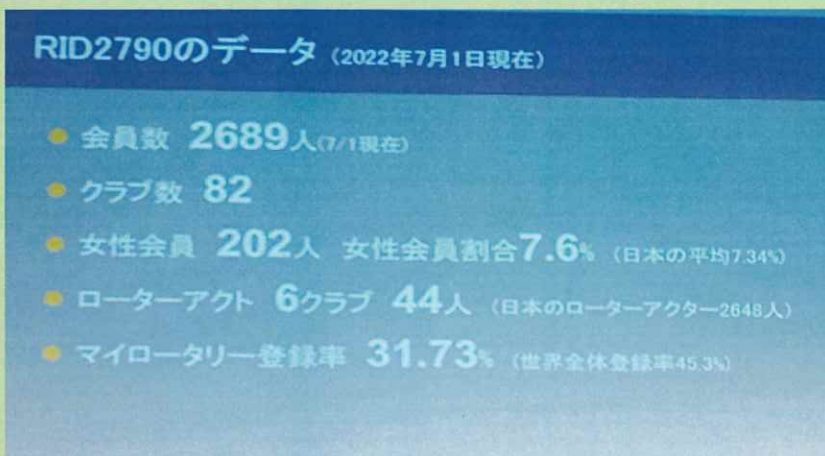
☆1960年代が一番多い

☆日本においては「インター・ローターアクト」の人数が世界に比べると少ない。

☆日本のロータリー財団とロータリアンの割合は一致している。

★日本のロータリーの未来は「女性会員の増員」にかかっている。

⇒これからのロータリーは「女性の視点」も必要となってきた。

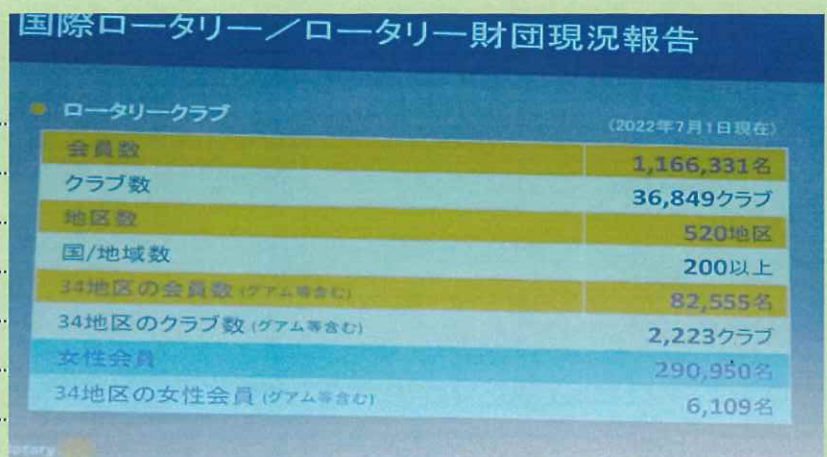


<第2790地区データ>

- 会員数 2,689人
 - クラブ数 82
 - 女性会員 202人
- 女性会員割合7.6%日本の平均7.34%
- ローターアクト6クラブ 44人
- 日本のローターアクター2,684人
- マイロータリー登録率31.73%
- 世界全体登録45.3%

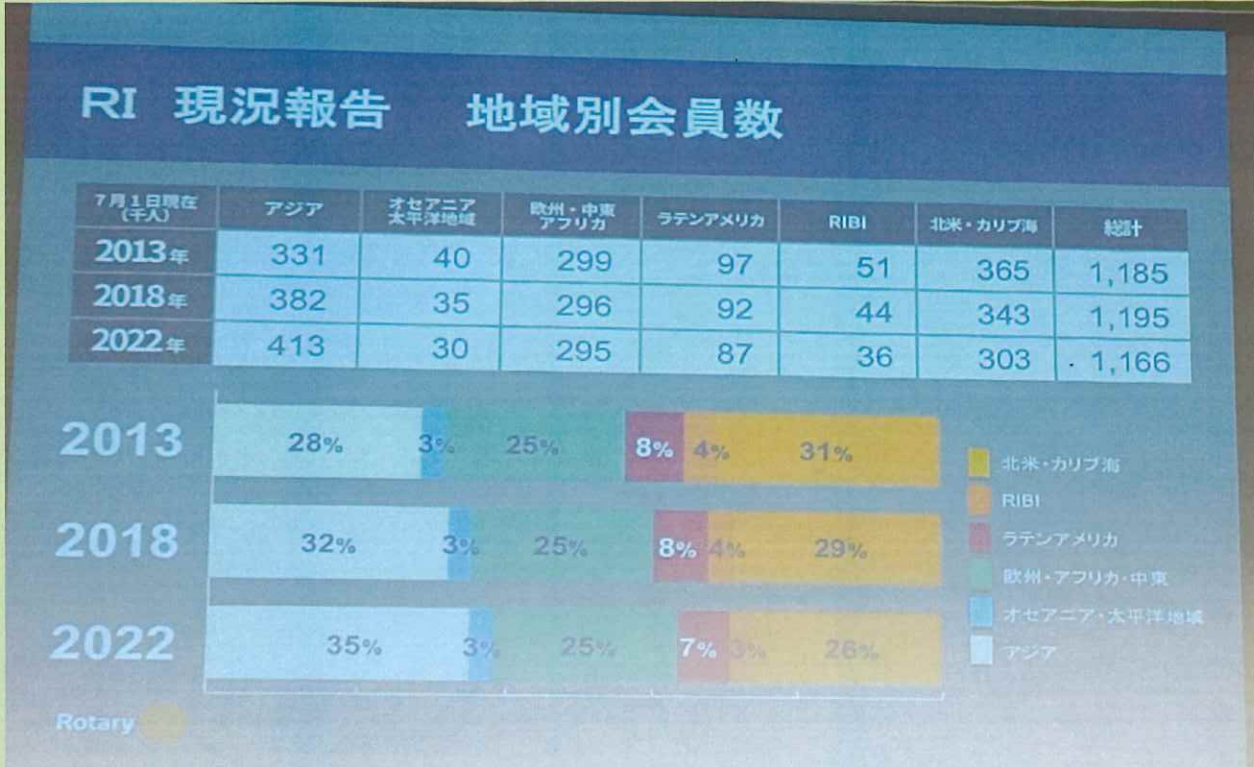
<国際ロータリー/ロータリー財団現況報告>

会員数	1,166,331 名
クラブ数	36,849 クラブ
地区数	520 地区
国/地域数	200 以上
34地区の会員数(グアム含)	82,555 名
34地区のクラブ数(グアム含)	2,223 クラブ
女性会員	290,950 名
34地区の女性会員(グアム含)	6,109 名



< RI 現況報告 地域別会員数 >

7/1現在 (千人)	アジア	オセアニア 太平洋地域	欧州・中東 アフリカ	ラテン アメリカ	RIBI	北米 カリブ海	総計
2013年	331	40	299	97	51	365	1,185
2018年	382	35	296	92	44	343	1,195
2022年	413	30	295	873	36	303	1,166



※会員数はアジアが増えている。(先進国は逆に少なくなっている)

★先進国の中で「ドイツ」が増えている。

⇒「なぜドイツが増えているのか」と検索して調べてみると……………

ドイツのロータリアンが大切にしている事として

◆友情と親睦を大切にしている。

◆会員を選ぶ際に「慎重に選ぶ」⇒だからやめる人が少ない

私たちも足元から考え直す必要がある。

< 女性会員の国別割合 > 日本⇒7.4%



★インドの深刻的な問題

◎女児のエンパワーの取り組みが必要⇒ポリオの次に目指すべき

<国際ロータリーからの主要なメッセージ>

女児のエンパワーメントはロータリーの重要分野と行動計画の目標に合致します。
 私たちは女児を保護し、力を与え、公平さを実現するプロジェクトを通して
 インパクトを高めることができます。

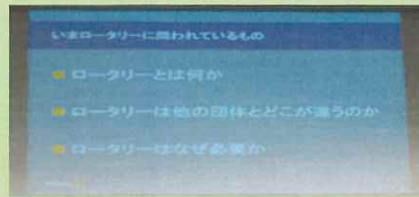
<世界の女児をめぐる現状>

- ①世界の非読者人口の約3分の2が女性
- ②途上国では約3人に1人の女の子が18歳未満で結婚
- ③身体的暴力を受けたことのある女の子は約4人に1人



【今ロータリーに問われている事】

- ◎ロータリーとは何か
- ◎他の団体との違い
- ◎なぜ必要か

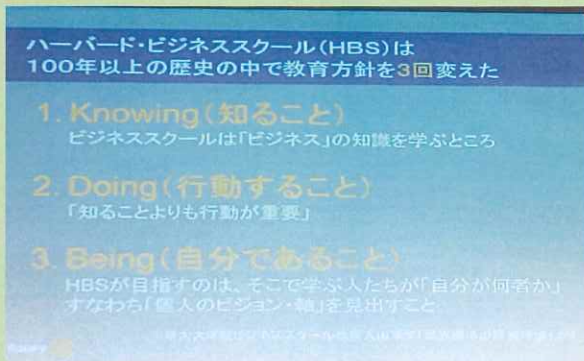


<ハーバードビジネススクール>

- ① Knowing (知ること)
- ② Doing (行動すること)
- ③ Being (自分であること)

⇒★自分から発信する

こうあるべきというのはそれぞれの考え



<共同体と機能体>

ロータリーは「共同体」である⇒求められることが大きくなると「機能体」になる。

※バランスが大切

→ (グローバル補助金等)

★現在『保守派』が多くなってきているように思える。(政治家も含め)

『守るもの』・『変えるもの』を大事にした考え方が重要である。



